

オースティン・ピー州立大学(アメリカ)

国際文化交流学部 国際文化交流学科 蓮野結女

留学期間：2024年1月9日～2024年5月4日

アメリカ南東部に位置するオースティン・ピー州立大学に、私は約4か月の交換留学をしました。この経験は、私の人生を大きく変えるものとなりました。以下では、私が苦労したこと、楽しかったこと、留学で目標としたこと、学んだことをまとめていきます。

まず、私がこの留学で1番苦労したことは「先入観を捨てること」です。留学にきて数日は、綺麗な文法の英語をしゃべらなければ伝わらない、すべての英語を聞き取らなければいけないなどの先入観を持っていました。しかし、この先入観が生んだのは自分に対する失望と悔しさだけでした。実際には、母国語が英語の人でも完璧な英語をしゃべっている人はほとんどおらず、授業も意味が分からないと言っている人も多くいました。そのため、コミュニケーションにおいて大切なのは相手に伝わるように話そうとすること、それに気づき実践するまでとても苦労しました。

次に、私が留学で1番楽しかったことは友達といろいろなイベントに参加することです。大学の周りには、ほぼなにもないため外で遊ぶというのができないことも多々ありました。しかし、大学では毎日何かしらのイベントがあったため、退屈な日はありませんでした。また、様々な友達が各自パーティーを開くこともよくあったので、そのパーティーで友達を作ったり、ダンスを踊ったりと毎日がとても楽しい日々を過ごすことが出来ました。

そして、私がこの留学で目標としたことは「毎日授業で手を挙げること」です。初めは周りの目が気になりました。しかし、毎日手を挙げていると教授の私に対する印象も上がり、自分の理解度や語学力の伸びにもつながったため、実行してよかったと思いました。

最後に、私がこの留学で学んだことは「積極的に行動することが最も大切」と言うことです。私が積極的に手を挙げたり、質問したりしたおかげで助けられたり、教えてくれたりする人も増えました。また、積極的に行動したおかげで私は多くのチャンスを得ることも出来ました。例えば、教授のボランティアを積極的にしたことで、校外でのイベントに参加する機会がもられたこともありました。これらのいただいた経験は、私にとって大きな宝となったと思います。

留学は学業のみだけでなく、私の人格まで成長させてくれました。この経験を活かしてこれからも新しい挑戦を恐れず、積極的に行動していきたいと思います。



友達の家でパーティーをした日

それぞれの国のごはんを作ってみんなで食べました。
お好み焼きを世界に届けることに成功しました。



留学生で集まってご飯を食べに行った日

期末試験もほとんど終わり、自国に帰る準備をみんながしている時期でした。
忙しい中集まってくれたみんなに感謝です。
ありがとうございました。